

環境省における OA 機器実態調査結果（速報）

（１）調査概要

平成 21 年度に環境省では、本省及び地方拠点を対象に、OA 機器の使用状況や使用する職員の課題を把握するため調査を実施している。

（２）調査結果

現在、調査実施中のため、アンケートの回収が終了している本省の 25F を対象に調査結果をとりまとめる。集計結果は、本省 25F（記者クラブや環境省図書館を含む課室）の 20 課室を対象とし、複合機 11 機、プリンタ 36 機、FAX10 機の調査結果となる。また、課題等のアンケートについては、対象とした課室すべてから回答を得ている。

① OA 機器の使用状況

本省 25F で使用している OA 機器の契約形態をみると、複合機、プリンタ、FAX のいずれもリース契約が中心となっている。

表 1 OA 機器の契約形態

	リース	買取	不明
複合機	10	1	0
プリンタ	34	1	1
FAX	8	1	0

また、それぞれの OA 機器のネットワークへの接続状況をみると、FAX でネットワーク接続されているものはないが、複合機では 11 台中 6 台（55%）、プリンタでは 36 台中 31 台（86%）がネットワークに接続されている。ただし、課室によって機種が割り振られているため、ネットワーク接続の有無により OA 機器の稼働率に大きな差異があるわけではない。

表 2 OA 機器のネットワーク接続状況

	接続	未接続	不明
複合機	6	3	2
プリンタ	31	1	4
FAX		6	3

② 稼働率

複合機・プリンタ別の稼働率を以下の推計式に基づき算出すると、複合機では稼働率4.0%以上が11台中7台(41%)ある一方、プリンタでは35台中6台(17%)にとどまる。プリンタに比べ複合機の稼働率が高くなっていること、複合機においては10%以上の稼働率のものがある一方、1%未満の稼働率のものあり、稼働率の差が大きいことがわかる。

$$\text{稼働率[\%]} = \text{月間出力枚数} / (\text{1分あたりの出力枚数[枚/分]} \times 60[\text{分}] \times 7[\text{時間}] \times 20[\text{日}])$$

… (推計式)

表3 複合機・プリンタ別稼働率

稼働率 (%)	複合機	プリンタ	カウンター数未取得
10.0 以上	1	0	1
8.0～9.9	3	0	
6.0～7.9	2	1	
4.0～5.9	1	5	
2.0～3.9	1	6	
1.0～1.9	0	0	
0～0.9	3	23	
平均	6.7%	1.8%	-

③ 機能

両面印刷・集約印刷については、プリンタの1台が両面印刷をできないことを除いて、すべての機器で、両面印刷・集約印刷に対応できる。また、カラー印刷については、複合機が11台中4台(36%)、プリンタが36台中19台(53%)対応できる。

表4 複合機・プリンタ別機能

	両面印刷	集約印刷	カラー
複合機	11/11	11/11	4/11
プリンタ	35/36	36/36	19/36

④ 紙の使用量

1ヶ月の紙の使用量は約59万枚で、複合機が44万4千枚、コピー機が14万6千枚となっている。一台あたりの平均の紙使用量は、複合機が約4万枚、プリンタ

が約 4 千枚と圧倒的に複合機での使用が多くなっている。

⑤ OA 機器に関する取組状況

セキュリティに対する取組については、「放置文章の禁止をルール化している」との回答が 6 件ある。

環境保全・コスト削減に対する取組としては、「帰宅時・休暇時は OA 機器を電源 OFF にすることを徹底している」が 9 件、「OA 機器使用时以外は節電モードにすることを徹底している」が 6 件ある。一方で、「印刷枚数制限を行っている」との回答はなかった。

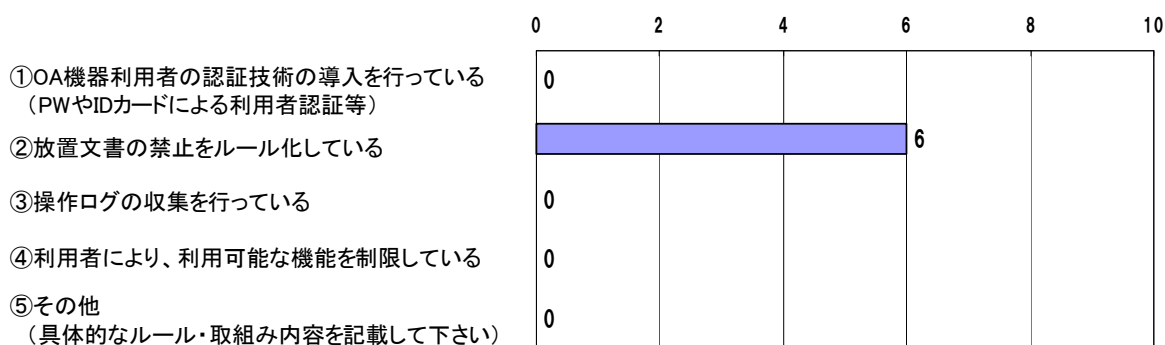


図 1 セキュリティに対する取組

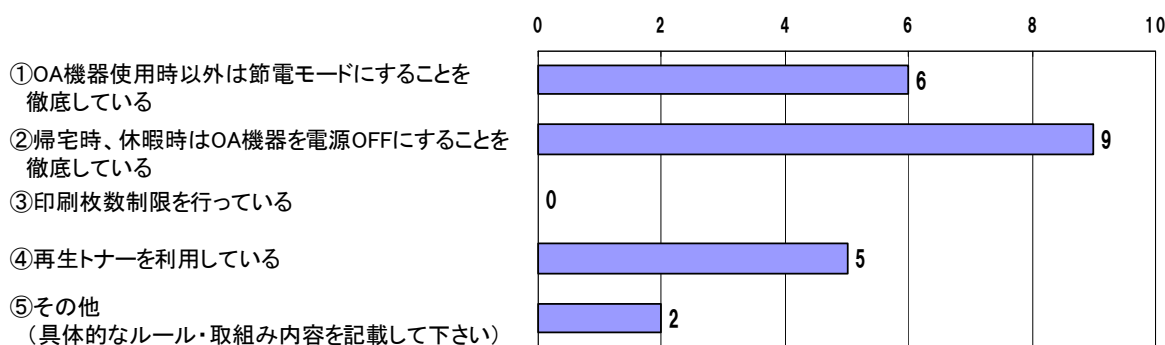


図 2 環境保全・コスト削減に対する取組

⑥ OA 機器の使用状況から見える課題

OA 機器の使用時に発生している事象より、4 つの課題が明らかになり、その解決策として4 つの方策が考えられる。

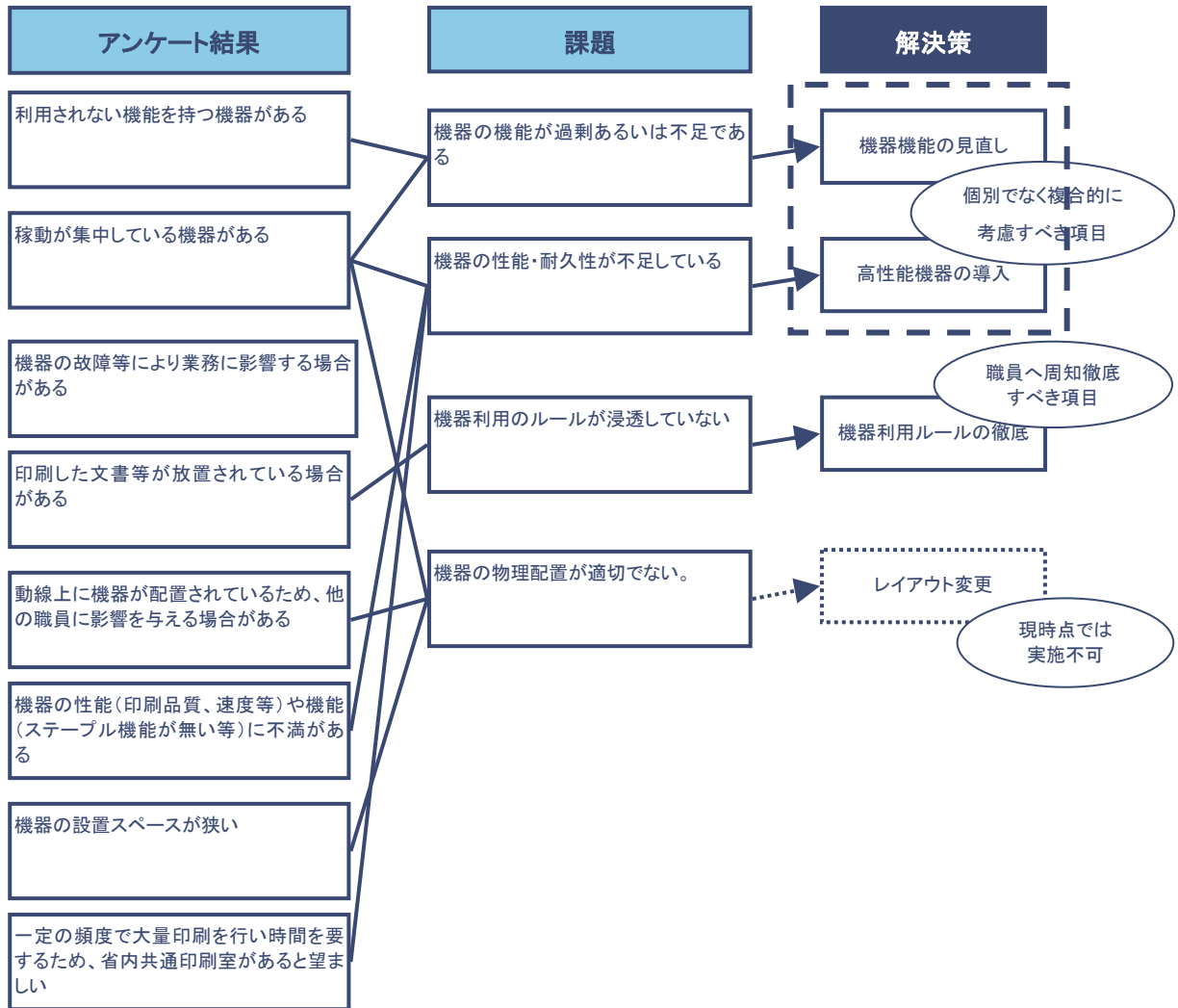


図3 OA 機器の使用状況から見える課題と解決策